



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月15日

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ

（コード番号：4820 東証第二部）

（URL <http://www.emsystems.co.jp/>）

代 表 者 役職・氏名 代表取締役社長 國光 浩三

問合せ先責任者 役職・氏名 執行役員管理部長 宮城 孝誓 TEL：（06）6397-1888

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

（内容）

法人税等については、年間予測税率により算定しております。

引当金並びに重要性の低いものについては、一部簡便な手続きを用いております。

なお、前年度の第3四半期においては、連結財務諸表を作成していないため、同四半期の経営成績の進捗状況、財政状態の変動状況については、記載しておりません。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

（内容）

当期より、固定資産の減損に係る会計基準を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満を切捨て表示）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	6,803	35.0	890	-	888	-	468	-
17年3月期第3四半期	5,041	7.9	-	-	-	-	-	-
（参考）17年3月期	7,315	6.5	455	26.8	483	25.7	276	14.9

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	67	89	67	43
17年3月期第3四半期	-	-	-	-
（参考）17年3月期	39	93	39	91

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期までの売上高は前年同期比35.0%増の6,803百万円、経常利益888百万円、四半期純利益468百万円となりました。

調剤薬局業界全体としては、平成18年4月施行の医療改革による影響を見据え、経営手法を見直し、重点的合理化を迫られる局面に入っております。

このような状況のもと、調剤薬局向けシステム事業につきましては、上半期から引き続き「Recepty」における旧製品からの自社リプレース、大型調剤薬局チェーンへの新規採用、他社製品からの切り替え導入が好調に推移しております。服薬指導支援システム「Navity」においても、「Recepty」のオプションシステムとして市場での認知度が定着しております。また、中規模調剤薬局においては、電子薬歴に対する需要が増加傾向にあり、「Navity」の販売件数増加に向けて、追い風となりました。市場全体が、政府の推進する『IT新改革戦略』の中で電子薬歴を含めた新たな手法へと視点を移し始め、今後も平成18年4月施行の医療改革を見据え、さらなる付加価値の提供を求めた調剤薬局からのシステム需要が、引き続き見込まれます。

ネットワーク事業につきましても、ASPを活用した調剤薬局支援システム「NET Recepty」と薬局間情報共有システム「NET-α」が、調剤薬局チェーンでの需要が増加したことにより、販売実績が当四半期の売上高、経常利益、四半期純利益へと寄与いたしました。調剤薬局チェーンやドラッグストア市場は、出店競争や業務提携による業界再編が加速しており、競争激化に対応するため、グループ間の情報共有やコスト管理による収益確保が不可欠であり、今

後もASPを活用した薬局間情報共有システム「NET-α」の採用、それと併せて「Receipty」に対する需要も引き続き高まるものと見込まれ、市場の囲い込みに向けてさらなるシェアアップを推し進めてまいります。

調剤薬局事業につきましては、引き続き医療サービスの向上に努めており、堅調に推移しております。なお、当四半期においては、平成17年11月に兵庫県に野崎通店を開局し、平成17年2月に購入した土地に平成17年12月新大阪店を開局しました。

また、平成17年2月に取得しました土地活用につきましては、本日（平成18年2月15日）発表しました「固定資産の取得に関するお知らせ」の通り、高度医療情報開発地域を目指し、事務所、調剤薬局、店舗等として平成20年3月の竣工予定となっております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年3月期第3四半期	10,207	3,622	35.5	524	50
17年3月期第3四半期	-	-	-	-	-
（参考）17年3月期	9,907	3,194	32.2	462	47

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	267	183	174	1,708
17年3月期第3四半期	-	-	-	-
（参考）17年3月期	259	3,695	3,587	1,800

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

売上債権の増加により、流動資産が前期末に比べ244百万円増加し、総資産では、前期末に比べ299百万円の増加となりました。

3. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 経営成績（個別）の進捗状況

（百万円未満を切捨て表示）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	5,192	41.4	864	-	864	-	455	-
17年3月期第3四半期	3,671	14.1	-	-	-	-	-	-
（参考）17年3月期	5,437	12.6	380	33.6	409	32.1	233	21.6

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	65	99	65	55
17年3月期第3四半期	-	-	-	-
（参考）17年3月期	33	84	33	82

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

(2) 財政状態（個別）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年3月期第3四半期	9,551	3,514	36.8	508	99
17年3月期第3四半期	-	-	-	-	-
（参考）17年3月期	9,276	3,099	33.4	448	86

以上

〔参考〕

平成18年3月期の（連結）業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	百万円 9,403	百万円 1,261	百万円 656

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 91円25銭

平成18年3月期の（個別）業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通期	百万円 7,143	百万円 1,212	百万円 629

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 87円58銭

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当期の業績予想につきましては、本日（平成18年2月15日）発表しました「業績予想（連結・単体）の修正について」の通りであります。連結の業績予想に関しましては、売上高9,403百万円（前年同期比28.5%増）、経常利益1,261百万円（同161.1%増）、当期純利益656百万円（同137.3%増）へ、個別の業績予想に関しましては、売上高7,143百万円（前年同期比31.4%増）、経常利益1,212百万円（同196.2%増）、当期純利益629百万円（同169.8%増）へ修正いたします。

「Recepty」における旧製品からの自社リプレイス、大型調剤薬局チェーンへの新規採用、他社製品からの切り替え導入が堅調に推移しております。また、ドラッグストアチェーンにつきましても、ASPサービスを核として導入されてきております。調剤薬局業界全体としましては、平成18年4月施行の医療改革に向けてIT化及びネットワーク化の充実により、さらなる業務の効率化が迫られております。引き続き大型調剤薬局チェーンでのASPを活用したシステムの導入や、服薬指導支援システム「Navity」も、「Recepty」のオプションシステムとして市場での認知度が定着しており、平成18年4月施行の医療改革を見据えた調剤薬局からの需要が、さらに増加するものと見込まれます。

また、「NET-α」のユーザーからの要望により、新たにリリースしました薬局向け勤務シフト・勤怠管理システム「SHIFT Manager」の投入効果も、第4四半期から出てくる見込みであります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

１．（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：千円、％）

科目	当四半期 （平成18年３期第 ３四半期末）	（参考） 平成17年３月期
	金額	金額
（資産の部）		
流動資産		
現金及び預金	1,534,680	1,625,734
受取手形及び売掛金	2,445,826	2,169,079
有価証券	203,301	203,283
たな卸資産	339,533	328,683
繰延税金資産	115,606	115,606
その他	91,999	54,466
貸倒引当金	266	10,723
流動資産合計	4,730,682	4,486,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	418,383	373,074
土地	3,917,207	3,901,776
その他	192,501	188,634
有形固定資産合計	4,528,091	4,463,485
無形固定資産		
ソフトウェア	223,021	302,497
その他	5,918	5,918
無形固定資産合計	228,940	308,416
投資その他の資産		
敷金及び保証金	291,686	282,830
その他	428,160	366,756
貸倒引当金	13	45
投資その他の資産合計	719,832	649,541
固定資産合計	5,476,865	5,421,443
資産合計	10,207,547	9,907,573

(単位：千円、%)

科目	当四半期 (平成18年3期第 3四半期末)	(参考) 平成17年3月期
	金額	金額
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	522,379	503,862
短期借入金	3,800,000	3,800,000
1年以内返済予定長期 借入金	89,800	171,200
未払法人税等	286,943	258,582
賞与引当金	87,161	186,112
その他	556,518	485,229
流動負債合計	5,342,803	5,404,987
固定負債		
長期借入金	-	41,000
繰延税金負債	826,235	820,853
退職給付引当金	154,423	140,078
役員退職慰労引当金	111,741	104,002
製品保証引当金	147,076	194,708
その他	3,155	7,023
固定負債合計	1,242,631	1,307,665
負債合計	6,585,434	6,712,652
(少数株主持分)		
少数株主持分	-	-
(資本の部)		
資本金	389,209	389,209
資本剰余金	360,994	360,994
利益剰余金	2,859,624	2,440,294
その他有価証券評価差 額金	12,879	5,018
自己株式	595	595
資本合計	3,622,112	3,194,921
負債、少数株主持分及び 資本合計	10,207,547	9,907,573

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科目	当四半期 (平成18年3期 第3四半期)	(参考) 平成17年3月期
	金額	金額
売上高	6,803,736	7,315,993
売上原価	3,210,824	3,504,451
売上総利益	3,592,911	3,811,541
販売費及び一般管理費	2,702,214	3,356,215
営業利益	890,697	455,326
営業外収益	41,459	36,533
営業外費用	43,715	8,670
経常利益	888,442	483,189
特別利益	33,060	15,513
特別損失	21,776	3,237
税金等調整前四半期(当期)純利益	899,726	495,465
税金費用	430,904	218,820
四半期(当期)純利益	468,821	276,645

３．（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当四半期 (平成18年３期 第３四半期)	(参考) 平成17年３月期
区分	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期（当期）純利益	899,726	495,465
減価償却費	175,969	249,022
退職給付引当金の増加額	14,344	21,284
役員退職慰労引当金の増加額	7,739	13,477
製品保証引当金の減少額	47,632	71,656
賞与引当金の増減額	98,951	10,325
貸倒引当金の増減額	10,488	10,380
受取利息及び受取配当金	874	1,364
支払利息	13,310	4,955
売上債権の増減額	276,747	46,583
たな卸資産の増加額	10,849	43,568
仕入債務の増減額	18,517	28,373
その他	1,589	48,057
小計	685,653	754,588
利息及び配当金の受取額	881	1,365
利息の支払額	13,138	5,438
法人税等の支払額	406,033	491,083
営業活動によるキャッシュ・フロー	267,362	259,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	153,726	3,674,282
無形固定資産の取得による支出	20,063	16,937
その他	10,000	4,738
投資活動によるキャッシュ・フロー	183,789	3,695,958
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額	-	3,800,000
長期借入金の返済による支出	122,400	163,200
配当金の支払額	48,341	48,260
その他	3,867	1,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	174,608	3,587,149
現金及び現金同等物の増加額	91,035	150,623
現金及び現金同等物の期首残高	1,800,017	1,649,394
現金及び現金同等物の期末残高	1,708,982	1,800,017

４．セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期

(単位：千円)

	調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業	調剤薬局事業	計	消去又は全社	連結
売上高	5,192,795	1,648,357	6,841,153	37,416	6,803,736
営業費用	4,328,268	1,613,681	5,941,950	28,911	5,913,039
営業利益	864,526	34,675	899,202	8,505	890,697

前連結会計年度

(単位：千円)

	調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業	調剤薬局事業	計	消去又は全社	連結
売上高	5,437,670	1,904,798	7,342,468	26,475	7,315,993
営業費用	5,056,941	1,828,827	6,885,769	25,102	6,860,667
営業利益	380,728	75,970	456,699	1,373	455,326

(注) １．事業区分の方法

事業区分は、製・商品の性質及び販売市場の類似性を考慮して区分しております。

２．各区分に属する主要な製商品

事業区分	主要製商品
調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業	調剤レセコン、医科レセコン、ネットワークシステム、薬袋プリンタ、各種サブライ及びメンテナンスサービス
調剤薬局事業	医薬品

[所在地別セグメント情報]

当四半期、前年同四半期及び前連結会計年度において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

５．販売の状況

(単位：千円、%)

事業の種類別セグメントの名称		当四半期		前年同四半期		増減率
		金額	構成比	金額	構成比	
調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業	調剤システム	4,259,044	62.6	2,827,309	56.1	50.6
	医科システム	130,399	1.9	112,732	2.2	15.7
	ネットワークシステム	134,482	2.0	126,751	2.5	6.1
	サブライ	504,652	7.4	483,971	9.6	4.3
	保守サービス	126,800	1.9	107,664	2.2	17.8
計		5,155,379	75.8	3,658,430	72.6	40.9
調剤薬局事業		1,648,357	24.2	1,383,166	27.4	19.2
合計		6,803,736	100.0	5,041,596	100.1	35.0